

日本消化器外科学会 国内留学プロジェクト 修了後アンケート

1. 今回、国内留学プロジェクトに参加し、学んだことは何ですか。

名古屋大学病院で、肝胆膵外科領域の高難度手術の代表となる、膵頭十二指腸切除術と肝門部胆管癌手術を見学させていただきました。肝門部胆管癌は左3区域切除、門脈・肝動脈再建と、市中病院ではなかなか行わない難易度の高い手術を拝見させていただきました。

膵頭十二指腸切除術は、自施設ではなかなか行う機会の少ない mesenteric approach による手技を見学させていただき、勉強になりました。

2. 今後、自身の所属施設で実践したいと思ったことはありますか。

術前画像で細かい血管走行まで読影し、手術の進行をイメージしたイラストをオペ室に貼って手術メンバーで共有しており、自施設でも取り入れたいと思いました。

肝離断を Pringle と IVC ハーフクランプも行い、まったく出血せずに進められており、IVC ハーフクランプも機会があればやってみたいと思いました。

3. 国内留学プロジェクトの利点として挙げられることはありますか。

私は、医局人事をはなれて市中病院で勤務しているので、ハイボリュームな大学病院などへ繋がりがなかったので、このような機会があり、手術見学をうけいれていただき、勉強になりました。

4. 国内留学プロジェクトの今後の課題として挙げられることはありますか。

手続きや留学中困ったことなど、些細なことでも良いので記載をお願いします。

困ったことはありませんでした。留学先の先生方は皆様とても親切に対応いただき大変有難く思っています。今後も国内留学プロジェクトを継続いただければ嬉しく思います。